

## 台風 0423 号による兵庫県下の河川災害

川谷健・○道奥康治・斉藤雅彦

### 1. 概要

2003年10月19日から20日にかけて近畿を通過した台風23号により兵庫県内では死者25名、床上浸水9829戸（消防庁調べ2004年11月3日現在）という甚大な災害が発生した。豊岡・和田山を中心とする但馬地域と淡路島において降雨が集中したことを図-1で確認できる。円山川水系の豊岡市・出石町、加古川水系西脇市、武庫川水系西宮・宝塚市、淡路島において河川災害を調査した。現在、円山川、加古川、洲本川に対しては河川激甚災害対策特別緊急事業による改修が進められている。

### 2. 円山川水系の河川災害

図-2のように豊岡市、出石川では堤防決壊と内水によって広範囲に浸水被害が生じた。被災地域は低平地であり、内水対策のための排水機場が設置されているが、急激な水位上昇による破堤を防ぐために内水排除ポンプが停止し、内水氾濫が生じた。水位はさらに上昇し、図-2の二カ所で破堤した後、本川右岸と出石川左岸の破堤によって氾濫地域が拡大した。

### 3. 加古川・武庫川における災害

加古川水系においては本川と杉原川合流点（西脇市）における溢水災害などが生じた。武庫川では、中流域の武田尾地区、西宮市名塩、宝塚市で床上浸水や護岸の被災が発生した。

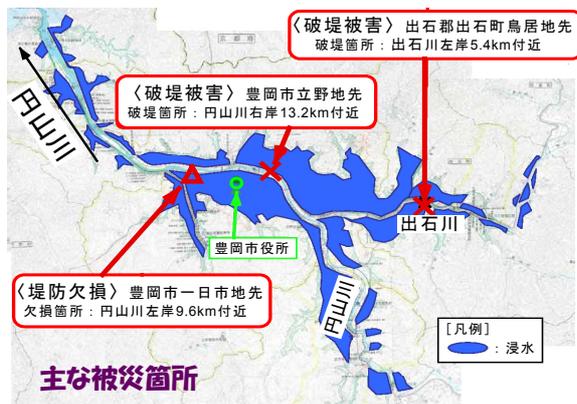


図-2 円山川における主な被災箇所

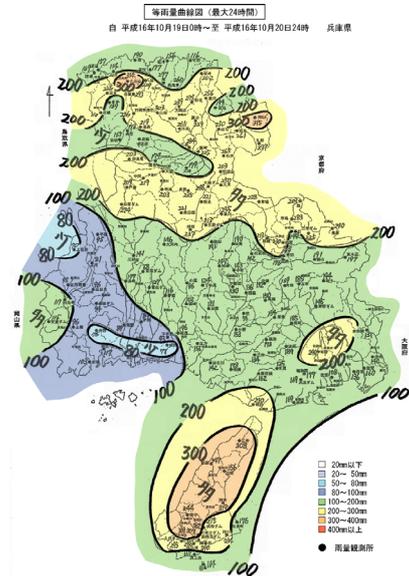


図-1 兵庫県内の最大24時間降雨量の分布  
(2004年10月19日0時~10月20日24時)

### 4. 淡路島における河川災害

淡路島では死者10名、床上浸水7171棟の被害があった。洲本川では、下流域で溢水し、支川の奥畑川ではため池の決壊による土砂流出が被害を深刻にした。三原川では、上流ダム群が有効に機能したものの、河積の不十分な中流部において溢水が生じ、下流域では外水・内水がともに原因となる浸水被害が広範囲に分布した（図-3）。

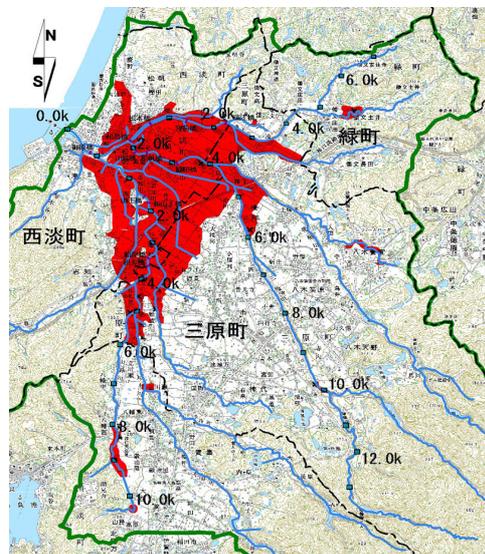


図-3 三原川流域における氾濫地域（赤塗り部）